

開幕！ ふるさとオリンピック'11

町体育協会（佐藤二郎会長）が主催する町民参加型の行政区対抗スポーツ大会「ふるさとオリンピック2011」が7月23日、ゲートボール競技を皮切りに開幕しました。

ふるさとオリンピックは本年度も、年間6種目の総合得点で争われます。昨年は11区が優勝を果たしました。

本年度の栄冠はどの行政区に輝くでしょうか。各行政区の皆さんの健闘が期待されます。

開幕式後に町営ゲートボール場で行われたゲートボール競技には、6行政区から約40人の参加がありました。

大会は各チーム4試合するリンクリーグ形式で行われ、参加者は晴天の下、熱戦を繰り広げました。

大会結果は次の通りです。
 優勝＝5区
 準優勝＝8区
 第3位＝14区



優勝を目指し選手宣誓する5区選手代表



熱戦が繰り広げられたゲートボール競技

ふるさとオリンピック'11開催日程

競技種目	期 日	会 場
2 野球	8 / 13(土)～14(火)	町営長島球場
3 壮年ソフトボール	8 / 22(月)～23(木)	町営長島球場
4 インディアカ	9月(予定)	町立長島体育館
5 親子ピンポン	11 / 27(日)	町立長島体育館
6 バスケットボール	12 / 4(日)	平泉中体育館

平泉中体育館の施設開放再開のお知らせ

3月11日発生の東日本大震災で被災し、施設開放を中止していた平泉中体育館の修繕工事が完了し、7月25日から施設開放を再開しました。
 皆さまのご利用をお待ちしています。
 なお施設を利用する際は、団体登録が必要となります。詳しくは教育委員会にお問い合わせください。

平泉町が準優勝！ 県民体育大会バスケット

県体育協会（会長・達増拓也知事）が主催する「第63回県民体育大会」が県内各所で開催され、当町から参加したバスケットボール競技が準優勝の好成績を収めました。
 バスケットボール競技は7月9・10日の2日間、久慈市の市民体育館などで開催されました。2回戦から登場した当町チームは、46点の大差で岩泉町に勝利。準決勝は接戦を制し、矢巾町に勝利。決勝では紫波町と対戦。惜しくも敗れましたが、昨年度に続き準優勝となる快挙を成し遂げました。



2年連続で準優勝した平泉町のメンバー

平中生が熱戦を展開 県中総体3競技



シュートを放つ男子バスケット部の選手

県中学校総合体育大会が7月16～18日、県内各所で開催されました。
 平泉中からはバレーボール部、男子バスケットボール部、ソフトテニス部の3部が出場し、熱戦を繰り広げました。
 中でも男子バスケット部は、1回戦で強豪の北陵中（盛岡市）と対戦。今野大貴選手を中心に、中盤まで一進一退の攻防を繰り広げました。最後は力及ばず55対66で惜しくも涙をのみました。が、全力を出し切った素晴らしい試合でした。

平泉中学校

将来の夢に向かって

7月6日、子どもたちの将来の進路選択に役立てようと、「父母に学ぶ職業ガイダンス」がPTAの主催で開催されました。整体師の小川哲男さん、電気関係の専門技術者の千葉ゆかりさん、看護学校教員の瀧澤由美さんの3人が生徒の前に立つてそれぞれの仕事の内容や、なぜその職業を選んだのかなどを分かりやすく話しました。

事について初めて知りました。危険な薬品を使って作業するのは大変だし、危険なことだけど、それをこなしている千葉さんはかっこいいなあと思いました。

「看護学校の先生の仕事は、どんなにつらい時でも笑顔を忘れないことが大切であるということを学びました。そして、たくさんの方々と触れ合える素晴らしい仕事だと思いました。」

多くの生徒にとって、自分の将来について深く考える良い機会になりました。



職業について学ぶ生徒たち

平泉小学校

思いを持ち伝えたい

平泉小学校の子どもたちは、調べ学習や体験学習が大好きです。そして、調べたことや自分の思いをよりよい表現で伝えたいと思っています。そのような子どもたちの願いをくみ取り、本年度はより効果的で充実した伝え合い活動を目指して、生活科と総合学習の授業研究を進めています。6月から7月初旬にかけては、11月の県研究発表大会

に向けて精力的に研究授業が行われました。

子どもたちは、平泉のひと、もの、こと「に積極的に関わることで、自分の思いを強く持ち、そこから学びまとめたことをどんどん発信しています。

その形は、パンフレットやポスター、あるいはプレゼンテーションであたりとさまざまですが、いずれのものからも「平



3年生の調べ学習



5年生の総合学習

今年度の宿泊学習は例年と少し違い、交流校の米崎小（陸前高田市）との合同宿泊学習です。テントも炊事もすぐ隣り、そしてキャンプファイヤーは同じ火を囲んで一緒にを行います。司会は長島小。少々恥ずかしさが

長島小学校

宿泊学習

～米崎小との思い出～

長島小5年生は、7月14日から15日にかけて県南青少年の家に宿泊学習に出掛け晴天の下、元気がいっぱい活動しました。

先に立つ両校でしたが、ジェンカや班の発表が始まると、大いに笑い、手を取り合って踊りました。最後は一緒に歌い、小さくなた火を見つめながら楽しく会を終えました。

米崎小学校との交流は、4月の支援物資の搬入、PTAと児童会で取り組んだ「心を届けよう」親子メッセージ。八雲神社例大祭（復興祈願祭）での合奏団の記



楽しかった宿泊学習

ちが一層育まれたのではないのでしょうか。米崎小との交流を含め思い出多い2日間。貴重な体験として一人一人の胸に刻まれたことでした。